

下水施設補修用耐硫酸性セメントモルタル 太平洋SA-Xモルタル

■ 日本下水道事業団編著「下水道コンクリート構造物の腐食抑止技術及び防食技術マニュアル」記載「断面修復用モルタルの品質規格」適合品

太平洋SA-Xモルタルは、下水処理施設補修用のプレミックセメントパウダーです。特に耐硫酸性に優れ、腐食環境下での防食被覆層下地の断面修復に適用できます。



▶ 特 長

- 耐硫酸性に優れ、高い耐久性が得られます。
- 繊維の混入によりひび割れを低減します。
- 優れた付着力により躯体コンクリートと密着一体化します。

▶ 用 途

- 下水、し尿及び廃棄物処理施設等の劣化コンクリートの断面修復

▶ 製品概要・標準配合

- 太平洋SA-Xモルタル: 25kg/袋

■ 標準配合

太平洋SA-Xモルタル	25kg(1袋)
練混ぜ水	3.5~4.5kg(標準3.95kg)

■ 1m³当りの標準使用量(練混ぜ水量3.95kg/袋の配合)

太平洋SA-Xモルタル	1,900kg(76袋)
練混ぜ水	300kg

1) 練混ぜ水量は、施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。

※練混ぜ水量は、気温が低い場合少なく、気温が高い場合は多くなります。

2) 練混ぜ水は、水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。

3) 練混ぜ水量3.95kg/袋により算出した数値です。

▶ 1袋当りの練り上がり量 約13.2ℓ

▶ 性能例(20℃)

試験項目	材 齢	試験結果	準拠試験方法
曲げ強度(N/mm ²)	3日	5.5	下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアルの断面修復用モルタルの品質規格による
	28日	7.8	
圧縮強度(N/mm ²)	3日	32.7	
	28日	63.0	
接着性(N/mm ²)	28日	2.0	
長さ変化率(%)	28日	-0.09	
耐酸性(質量変化率)(%)		7.0	
硫酸浸透深さ(mm)		2.2	

● 上記データは、標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。

● 本製品は、セメント系材料なので、気温が低い場合は、強度発現が遅れます。

● 上記データのうち「圧縮強度」は、4×4×16cmの角柱供試体により測定した結果です。φ5×10cmの円柱供試体の場合は、この値よりも小さくなる場合があります。

下水施設補修用耐硫酸性セメントモルタル 太平洋SA-Xモルタル

▶ 施工概要

- ① 劣化、脆弱したコンクリートは、研り、あるいは、高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
- ② コンクリート面は、十分に清掃して、埃や汚れを取り除いて下さい。
- ③ 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理材を施して下さい。
- ④ 施工面には適切なプライマーを塗布して下さい。
- ⑤ モルタルを練混ぜる際、過度の練混ぜによる泡の巻き込み過ぎに注意して下さい。
- ⑥ 練混ぜ量は、作業体制、環境条件等によって調整し、一度に大量のモルタルを練混ぜないで下さい。
- ⑦ 練り上がったモルタルを左官工法・吹付工法で施工して下さい。
- ⑧ 1層目は下地が隠れる程度とし、密着するように施工して下さい。2層目以降の塗り付けは、追いかけて前層となじむように行って下さい。吹付施工の場合は、1層目の吹付け終了後、適度な養生期間をおいて十分に締まったことを確認してから行って下さい。
- ⑨ 最終仕上げは、モルタルが締まった後に金ゴテ仕上げを行って下さい。補修後、急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行って下さい。
- ⑩ 防食材を塗り付けるまでの養生期間は、おおむね2週間とします。事前の検査により防食材が施工できる事をご確認してから施工して下さい。
- ⑪ 詳細は、施工要領書をご参照下さい。



ご使用になる前に、必ずご確認ください。

●本カタログに記載される性能例他の事項は代表的な実験値や調査に基づいたものであって、「すべての現場諸条件」に当てはまるものではありません。●ご使用になる前に、使用の目的や要求性能、および使用される場合の現場諸条件を考慮して、本製品が適正であるかどうかのご検討をお願いいたします。●特に、現場において実施されることの多い「圧縮強度」、「付着強度」については、試験体作成時の配合や環境温度、成形方法、試験体寸法や形状、その後の養生条件等により下回る数値を示すことがあります。●試験手順については、工事仕様書、発注者仕様書、または関連する指針(案)等をご確認頂き、必要に応じて監督係員と協議して事前に確認しておくようお願いいたします。

使用上の留意事項

- 練混ぜ水には、水道水、またはそれに準ずる清水を用いて下さい。
- 欠損が大きいなど剥落の恐れがある場合は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等、剥落防止対策を行って下さい。
- 外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いのほか、ヒーター等の保温措置を講じて下さい。
- 施工中および施工後早期に強風、日射、降雨、降雪等の影響を受ける恐れがある場合は、シートで覆う等の養生を行って下さい。
- 練混ぜには、アルミニウム製の羽根は絶対に使用しないで下さい。アルミニウム部材が摩耗し、施工後に異常膨張する恐れがあります。
- 太平洋SA-Xモルタルの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷いて床面から離れた状態で、ビニールシート等で覆って下さい。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。



- 本製品は、カタログに記載されている方法でご使用下さい。
- 本製品は、セメントと同様にアルカリ性を示します。ご使用の際は、眼、鼻、皮膚および衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護メガネ、マスク等)を着用の上、ご使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水にて十分に洗浄した後に速やかに医師の治療を受けて下さい。
- 誤って飲用した場合は、直ちに吐き出して、清水で十分に洗浄した後に速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがありますので、付着した場合は直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は、手洗い、うがいをして下さい。
- 本製品の取扱いに関して、詳細な内容を必ず安全データシート(SDS)にてご確認ください。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承ください。

 **太平洋マテリアル株式会社** <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 TEL.03-5832-5217

北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎ 03-5832-5241
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル4階	☎ 06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎ 092-781-5331